

LGBTQの取り組み

現在、全国の中学校にてLGBTQの取り組みとして制服や体操服の見直しが進んでいる。
さいたま市内でも約30%の中学校がスラックスの導入を開始している。今回、昭和30年代から続く伝統的な制服を保護者、学校、地域そして生徒が一体となり一新した見沼区片柳中に話を聞いた。

片柳中は2021年2月当時、生徒から聞こえてきた制服を見直したいという声にこたえるため、保護者向けアンケートを実施。新学期を迎えた同年4月には生徒、保護者が参加する制服委員会が発足。学校や地域の伝統を守りたいという想いや、汚れにくいなど保護者目線での意見に加え、制服デザインをもとに販売メーカー数社選定。7月には体育館にて、候補として挙げられた新デザイン制服を生徒が着用し制服プレゼンショーを実施。在校生だけでなく、



PTAと学校・地域の協働の重要性

～コロナ禍を生きる子どもたち～

第77回指定都市PTA情報交換会さいたま市大会 開催

「これからの時代のPTAを考えよう!～すべては子どもたちの笑顔のために～」をテーマに、第77回指定都市PTA情報交換会、さいたま市大会が令和4年9月15日、16日「さいたま新都心ホテルプリランテ武蔵野」にて開催された。多様性が求められる時代となり、過去の歴史を伝えながら新時代のPTA活動を視野に入れ創造していくことが重要となる。コロナ禍を乗り越えて、PTA運営の変化や課題における解決策などを情報交換した。4つの分科会に分かれ、「PTAの任意加入について」「コミュニティ・スクール」「教員の働き方改革への対応」「PTA活動とICT」について意見交換を行った。

※指定都市PTA情報交換会とは…政令指定都市の中で、16の指定都市が、指定都市としてのPTA協議会を組織しています。固有の課題や情報を共有し、より良い活動を行っているという目的を持っています。



近隣の小学生やその保護者をも巻き込んだ投票によって決定した制服は翌2022年度から適用され今年現在新1年生を中心に新しい制服に切り替わった。
検討期間をわずか1年と短く設定したのは、検討に加わり一生懸命に取り組んだ在校生にも新しい制服を着る機会を作りたいというPTAの熱い想いがあった。
生徒たちは様々な個性と多様性を持っている。LGBTQやジェンダーレスといった概念ではなく、義務教育の中の限られた制服アイテムで個性を表現できるように、個の選択の自由を取り入れた制服となった。
片柳中PTAはその個性と、地域の伝統、生徒、保護者の意見それぞれを大切に扱い「生徒のやりたいを応援します」をスローガンに掲げ現在も活動している。



カンコー学生工学研究所より抜粋
https://kanko-gakuseifuku.co.jp/lab/contents/lgbtq_7/ (参照 2022-12-08)



三行詩 令和4年度「楽しい子育て全国キャンペーン」～家庭で話そう!我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～

全国より118,791点(小学生の部・中学生の部・一般の部合計)の応募作品の中からの受賞、おめでとうございます!

<p>● 厚生労働大臣賞</p> <p>反抗期 言えぬ 思いは 完食で</p> <p>土合中学校 石井りこさん</p>	<p>● 佳作 ~小学生の部~</p> <p>帰り道むかえに来て 暗くて怖いからじゃなくて たくさんおしゃべり できるんだもの</p> <p>仲町小学校 小泉 陽輝さん</p>
---	--

さいたま市PTA協議会 「児童・生徒ワイド補償制度(こども総合保険+自転車総合保険)」

- 第一次締切日: 3月27日 補償期間 2023年4月1日~2024年4月1日
- 第二次締切日: 4月20日 補償期間 2023年4月25日~2024年4月1日

本広告は制度の概要のみを記載したものです。ご加入に際しては重要事項説明書をよくお読みください。不明な点等がある場合には代理店までお問い合わせください。

埼玉県自転車条例
さいたま市自転車条例
に対応しています!

団体割引等適用により
保険料が割安!

<p>自転車事故等による損害賠償責任も 無制限で補償</p> <p>※ご家族全員が対象 ※国外は3億円まで補償となります。</p> <p>示談交渉サービス*付き!</p> <p>小学5年男子児童の自転車衝突で母親に約9,520万円の賠償命令(神戸地裁判決)</p>	<p>ケガの補償 24時間補償で安心!</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学校内でのケガはもちろん、休日も含め24時間ケガを補償! ◆地震等によるケガも補償! ◆細菌性食中毒、ウイルス性食中毒や熱中症による死亡・後遺障害・入院・手術・通院も補償! 	<p>扶養者の方が事故で万一の際に 育英費用を補償</p> <p>高校3年間と大学等の合計で約943万円の教育費がかかります!</p> <p>出典:株式会社日本政策金融公庫「教育費負担の実態調査結果」(令和3年度)</p>
---	---	--

プランによって補償項目が異なる場合がありますので、詳しくはパンフレットをご確認ください。

<p>取扱代理店・扱者 AIGパートナーズ株式会社 さいたま支店 〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-54 TEL 0120-991-341 (通話料無料) (受付時間9:00~17:00 土、日、祝日、年末年始を除く)</p>	<p>(募集締切日) 第一次締切日: 3月27日 投函締切 補償期間 2023年4月1日~2024年4月1日 第二次締切日: 4月20日 投函締切 補償期間 2023年4月25日~2024年4月1日 詳しくはパンフレット等をご確認いただくか、取扱代理店・扱者までお問い合わせください。</p>	<p>(引受保険会社) [幹事会社] AIG損害保険株式会社 担当支店: 埼玉支店 〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-54 TEL:048-641-4050 [併幹事会社] 東京海上日動火災保険株式会社 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 S-230378(2024-01)</p>
--	--	---

第70回 日本PTA全国研究大会 山形大会

『人とひとのつながりを体感しよう！』～あがらっしゃい精神の山形から～

令和4年8月26日、27日、山形県にて第70回日本PTA全国研究大会が行われた。「人とひとのつながりを体感しよう！～あがらっしゃい精神の山形から～をテーマに県内10会場で第1分科会から第8分科会、特別第1分科会、第2分科会が行われた。さいたま市PTA協議会は天童市市民文化会館で行われた特別第1分科会に参加。研究課題「令和の日本型学校教育」を支援するPTA活動をテーマに、変化し続ける社会の中、教師や保護者の役割、地域との連携・協働による子どもたちとの関わりかた、道徳性を育むための体制や実践活動について木村貴志氏をはじめとする講師たちに講演していただいた。

また歓迎アトラクションとして天童高校ダンス部による一体感のあるパフォーマンスを披露していただいた。

2日目はメイン会場である山形市総合スポーツセンターにて全体会が行われ「やまがたThe.MOGAMI-GAWA」をテーマに歌手、朝倉さや氏による歌唱、地元「良絃会」の伴奏による花笠音頭の演奏、村山産業高



校の生徒による徳内ばやし、山形大学による花笠踊りのパフォーマンスを鑑賞した。

また全体会記念講演、記念演奏会では、講師に飯森範親氏を迎え講演では、指揮者という仕事を通して、具現化してきた「人とひとのつながり」の大切さについて講演いただき、その後の演奏会でも指揮者として山形交響楽団の演奏も披露していただいた。

2日間を終えて、私たちは人とひとの「つながり」の中で生きていて、その「つながり」とは先祖代々からの「いのち」のバトンをつなぎ「ふるさと」を愛し未来に心をつなぐこと、PTAは、家庭と学校そして地域をつなぐ大きな役割を担っている。

子どもたちの健やかな成長には、家庭や学校はもとより地域とかわり社会性を学ぶことが必要であり、多くの人とひとの「つながり」があつてこそ生きる力を「まなぶ」ことができるのだと思う。



第54回 日本PTA関東ブロック研究大会 山梨大会

みんなで生きる みんなで育つ ～この甲斐(会)から発信 子どもと大人 共に歩み 共に考え 共に創る～

令和4年10月15日、16日、関東ブロックPTA協議会に所属する小、中学校の保護者・教職員2,000名以上が2日間にわたり7分科会に分かれ各会場で28の研究発表が行われた。

1日目は、さいたま市PTA協議会からは、単会会長が参加し分科会の講演、研究発表を聞いた。第7分科会のテーマ「情報モラル」では、上落合小、上大久保中による発表が行われた。

上落合小は、「PTAのDX5年間の軌跡と展望」と題し、情報の一元化を目的にサイボウズ社のグループウェアを導入し、安心、安全なデジタル化を実現。PTA活動における「時間と場所の制約」を解消した。

上大久保中は、「グループウェア導入によるPTA活動の効率化とモラル意識の確立」と題し、コロナ禍においてもPTAを止めないことを意識し、PTA活動を見直し、スリム化のために改革を行った。コロ



令和4年度さいたま市優良PTA団体に係る表彰式及び市長表敬訪問

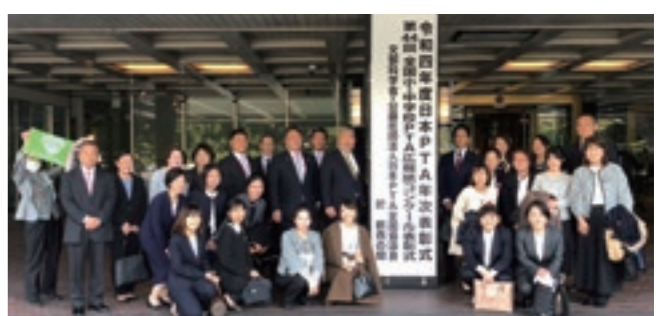
- さいたま市優良PTA団体表彰受賞団体**
- さいたま市立 善前小学校PTA「みどりの会」
 - さいたま市立 大谷小学校保護者と教職員の会
 - さいたま市立 上大久保中学校PTA
 - さいたま市立 片柳中学校PTA
 - さいたま市立 第二東中学校PTA

日時:令和4年12月19日(月)午後2時00分
場所:ときわ会館 5階 小ホール



令和4年度日本PTA年次表彰 第44回全国小・中学校PTA広報誌コンクール表彰

- 日本PTA年次表彰**
- 令和4年度優良PTA文部科学大臣表彰**
 - さいたま市立善前小学校PTA「みどりの会」
 - さいたま市立大谷小学校保護者と教職員の会
 - 令和4年度公益社団法人 日本PTA全国協議会会長表彰 (団体)**
 - さいたま市立片柳中学校PTA
 - さいたま市立第二東中学校PTA
 - 令和4年度公益社団法人 日本PTA全国協議会会長表彰 (個人)**
 - 岡野 育広 (西原中) 茂手木 真 (植竹小)
 - 池田 拓矢 (岸中) 山崎 英慈 (上大久保中)
- 第44回全国小・中学校PTA広報紙コンクール**
- 文部科学大臣賞**
 - さいたま市立八王子中学校 父母と教師の会



開校150周年記念式典

岩槻区では、岩槻小にて開校150周年記念式典が執り行われた。今回、岩槻小の中島校長先生・清水PTA会長にお話しを伺った。

■中島校長先生

11月19日(土)に挙行いたしました「岩槻小学校開校150周年記念式典」には、清水さいたま市長様・細田教育長様をはじめ、多くの地域の方々にご臨席賜り、誠にありがとうございました。式典では、本校出身のプロの演奏者とバイオリンソートのコラボ演奏、児童会による「岩槻小150周年クイズ」、6年生鼓笛隊の演奏発表もありました。1~6年生全児童が参加し、温かい式となったと思います。



■清水PTA会長

コロナ禍で、なかなかこれまでのような式典が行えない環境下で、地域の方々をお招きし、また1~6年生全児童が参加する形で、開校150周年事業が無事に挙行できました。中島校長先生をはじめとして、ご準備いただいた皆様に感謝しております。

「これからも、自分の住む「この地を愛する子ども」、そして将来「地域を、国を、世界を担う人材」に育っていくように「地域に根ざし、地域と共に歩み続ける岩槻小」であることを誓い、さらなる学校教育の充実に向けてまいります。」と中島校長先生よりお言葉を頂戴した。



大宮 OMIYA

さいたま市立 第二東中学校

トイレに生理用品を設置

思春期の子どもたちに寄り添う活動として、コロナ禍の経済的理由により「生理の

「貧困」が社会問題になり、生理用品の無償配布を行なう事業が全国の自治体で行われている。貧困問題の側面だけではなく、思春期の子どもたちが身体の変化を安心して受け止められるよう、学校環境作りも必要なのではないか。

大宮区第二東中では、昨年より全ての個室トイレ36ヶ所に「思いやり生理用品」として設置している。また、「思いやり隊」というボランティア保護者が補充を行い、子どもたちが使用する「生理用品の寄付」を募集し、心の負担を支える活動を行っている。設置1年を迎え、子どもたちからは「生理の日でも学校に行こうと思った」「学校で初潮を迎えたがトイレの個室にあった

さいたま市内生理用品設置済校	岩槻区	浦和区	大宮区	見沼区
川通小	慈恩寺中学	仲町小	大宮東小	片柳中
		芝川小	大宮南小	七里中
			上小小	
			大宮東中	
			大宮南中	
			大宮北中	
			三橋中	
			春里中	



ので助かった」「男子生徒の前で生理用品を取り出せなかった」「突然の生理の日に助かった」など、不安が軽減された声と安心感が多く寄せられている。

さいたま市内では、17校の小中学校で「手洗い場」または「一部の個室トイレ」に生理用品が設置されている。大宮区連合会、見沼区連合会では、生理用品を設置できるよう情報交換をし、岩槻区連合会では会長副会長会の中で情報共有を行い前向きに取り組んでいる。

思春期の子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、心の声に寄り添う温かさを感じるPTA活動の輪が、多くの学校に広がることを願っている。

北 KITA

さいたま市立 日進北小学校

自分たちでできる防災について知り、体験しよう！

自然災害を防ぐことは難しいが、災害から身を守る方法はいくつもあると思う。そのような中、日進北小では「防災教室」という活動を2月に開催する予定。災害が起きた時、ひとりでその困難な状況を解決することは難しく危険を伴う。その地域に住み暮らす地域の方たちと連携する必要性を強く感じ、開催することになった。

さいたま市は近年、スクールサポートネットワークを推進しており、地域のネットワークの重要性を掲げ、各学校で協議会を開催している。そのネットワークを駆使して、災害が発生した時に地域の方々と日進北小が連携していこうという姿勢は、他の学校にとっても学ぶことのできる活動だと感じた。



当日は紙食器作りの体験を予定しています

そのなかで江副PTA会長を中心とした保護者の方々が率先して地域の方に寄り添っていかうとする気持ちが今後、われわれPTAに必要なことだと強く感じることができた。

当日は体育館でブースを用意し、防災についてみんなで楽しみながら体験する設えになっており、子どもたちも令和5年2月26日の防災教室を楽しみにしている。

緑 MIDORI

さいたま市立 中尾小学校

コロナ禍でのイベント開催

3年にも及ぶコロナ禍の中、学校行事も規模縮小や中止が相次ぎ、そんな中、PTA主催のイベントを開催できた学校もあつた。

中学校では制服リサイクル販売や除草作業や花植えなど、主に環境整備に関するものが多く見受けられた。見沼区大宮八幡中ではコロナ禍のため、行事が開催できなかった代わりに学校フェンスに入学式・卒業式の飾りつけを行いお祝いの雰囲気盛り上げた。

小学校ではどうかというと、北区つばさ小がコロナ禍独自のイベントとして『「ツッコリ大作戦」』を決定した。給食時間中にPTA会長がサンタクロースに扮して各クラスにプレゼントを配って回り、沢山の子どもたちの笑顔がふれる素晴らしいイベントとなった。

また、緑区中尾小では恒例行事である「ふれあいフェスティバル」を3年ぶりに開催。PTAを中心に、まずは学校と開催について感染対策を含め協議し、開催する方向で決定。主な感染対策は、開催通知にて当日の事前検温のお願いと、外部来訪者の入口での検温、食事の禁止

(飲み物可)、各ゲームコーナーでも使い回す道具は都度消毒等を徹底。メインとなる中尾小の子どもたちの検温徹底のため、ゲーム券との引換券に体温を記入して持ってきてもらうよう工夫。開催に向けての準備では、本部役員・各委員会メンバー全員が未経験者だったため、例年本部役員で出店していたバザーは中止。当日の運営や各委員会のフォローを行い、安全・安心に開催することに注力することとし、引継ぎ資料を確認しながら手探り状態で準備を進めた。

また、内部・外部の出店を募集したものの、コロナ禍を理由に出店を見送るところが多く、出店による子どもたちへの感染等を心配するお店の方がいて、感染対策等を直接説明して話し合うことで出店を決めてくださったこともあつた。また、雨天時にも決行出来るよう、事前に学校から許可をもらい、雨天時の配置(教室や体育館を利用)を決定。こうして数か月間になわたる準備期間を経て、11月19日(土)に「ふれあいフェスティバル」



PTAと児童生徒の協力イベント で絆を深める校門のペンキ塗り

～大切な学校をみんなの手で～

きれいに変身！

東大成小PTAでは、コロナ禍を機に活動と組織を見直して、今年度よりこれまであった各専門部を廃止し、活動ごとにエントリーする制度になった。その一つの活動「学校をきれいにしようプロジェクト」の一環として、校門と掲示板のペンキ塗り作業が行われた。

まずは、自分たちの小学校にもっと愛着を持ってもらいたいとの思いから、事前にご家庭へFormsでアンケートを取り、塗り替える色を決めた。数年間、本格的な塗り直しをしていなかった校門と掲示板はサビが浮き、ところどころ穴が開いてい



た。事前の洗浄とサビ取りや穴の補修、サビ止め剤を塗る作業まで終えて準備を進めた。

上塗り作業当日は、エントリーで集まった保護者と子どもたちが作業に加わった。普段なかなか経験できない作業だったが、子どもたちは楽しみながら、一生懸命、すみずみまで丁寧に塗ってくれた。みんなの手により、校門は鮮やかな空色に、掲示板は周囲の植物になじむお洒落なアンティークグリーンに生まれ変わった。

今回のこの東大成小の活動は、子どもたちにも自分たちの通う小学校のことを好きになってもらえる活動だと感じた。「素敵に生まれ変わった校門で、通うのが楽しくなるような学校環境を目指しています」と菊池PTA会長は子どもたちと共にPTA活動を盛り上げていく。通う子どもたちの笑顔のために、子どもたちと共に協力していくことで、このコロナ禍で希薄になりつつある絆を深めていくことができる活動だと感じた。



Q:父親が主催している事業はどういったものがありますか？
A:大宮南小では「パバコミクラブ」というPTA会長が代表を務める組織があり、令和4年度には、夜の学校探検、水かけ祭り、パバコミ大運動会(仮装、逃走中、学校外周イルミネーションを企画・主催し、その他にも学校貢献活動(体育館・側溝の清掃等)や地域貢献活動(氷川参道清掃等)も行っています。

Q:どのように父親の参加者を集めているのですか？
A:「パバコミクラブ」で定期的に企画会議を開き、アイデアを出し合い、その企画案を基に参加できる父親を募るとたくさんの方から手が挙がります。準備から参加する方も、当日のみ参加する方もいらっしやいます。

今回の取材から、夜間や週末、オンラインでの打ち合わせを活用し、父親も参加しやすい環境を整え、まずはイベント中心でもPTA活動に関わってもらおうのが良



いと思った。また、やはりPTA会長自らが動き、保護者の皆さんとコミュニケーションを取ることで、も大切だと改めて感じた。



※プライバシー保護のため、写真の一部加工しています。

IT化で委員の負担を減らそう

中島小PTAでは、今年度が始まってすぐにPTA・IT化プロジェクトを立ち上げ、IT化の計画を立ててきた。

まず始めに、PTA会議室にあるパソコンをレベルアップし、インターネットの環境を整えた。他校の話を参考に、どのプランでどの程度の通信量が必要かを話し合った。また、PTAでも契約できるプロバイダを探し、さらに電波状況によってどのキャリアがいいかを調べた。さらに、PTA専用のメールアドレスも取得し、プロバイダの契約時などに使用している。

環境が整ったところで、中島小PTAでは何を一番に効率化したいのかを再び話し合いメール配信システム「マ・メー

サステナブルな活動について

～大宮西小の取組～

大宮西小では、昭和58年4月に潤い自然園の基となる水生植物池が設置され、平成16年に市教育委員会より「特色ある学校づくり」の指定を受け、「潤い自然園」の整備がされた。その後、大宮西小の児童の学習・遊び・憩いの場として活用されていたが、フェンスなどの老朽化を受け、令和元年の創立50周年を機に、学校・PTA・ウエストパワーズ・地域が、「子どもたちのために」と一丸となって環境整備を進めている。

潤い自然園の整備は、PTAが長期休暇や学校との相談により進めている。草が生い茂ってきた際には、ウエストパワーズが草刈りを行っている。



ウエストパワーズとは、平成29年に発足したおやじの会で「気は優しく力持ち！全ては子どもたちのために！」を合言葉に活動している組織である。

地域には卒業生の保護者も多く、PTA活動、学校行事等にも大変協力的である。

子どもたちが自ら潤い自然園について、どのような環境整備が必要なのか、在校生が潤い自然園にきて安全に探索できるのかなど、今できることを校長先生へプレゼン資料を作り、クラス代表チームがプレゼンを行った。その中で、今年度は、自然のごみ箱IIエコスタック・堆肥箱の作製・設置を6年生が行った。

このように、潤い自然園を通じ、子ども・学校・PTA・ウエストパワーズ・地域の5者が連携し、持続可能な活動がなされていると改めて感じた。

父親のPTA活動参加

～カギはコミュニケーション？～

PTA活動において父親の参加がまだまだ少ない中、父親が積極的に参加して活動している事業が多い大宮南小齊藤PTA会長に話を聞いてみた。

んでいる。5年生の社会科の授業では、児童がインターネットで調べてPowerPointにまとめた内容を事前にTeamsにあげ、授業の中で紹介している。体育の授業では、体育カードの代わりにタブレットを各自持参してとび箱を跳ぶ動画を撮影し、教員のお手本動画を参考に自分の動きを再確認している。



本太中では、授業や家庭学習以外でも、生徒たちがアイデアを出しながらタブレットを活用している。委員会活動では、Formsを利用してアンケートを作成して情報共有を行っている。部活動では、YouTubeを利用して試合の動画を見て研究をしたり、部活動紹介動画を作成して新入生の勧誘に利用したりしている。

ネットリテラシーについても授業の中で学んでいる。

タブレットの活用が進み、使用時間も長くなっている。今後も子どもたちが安心して活用できるよう、視力や使用の際の姿勢など健康に注意しながら、保護者がしっかりと見守る必要性を感じた。



タブレットの活用

さいたま市GIGAスクール構想に基づき、児童生徒に一人一台貸与されたタブレットは、市内各校で積極的に活用されている。

常盤北小では、教員の中から選出されたエバンジェリストが中心となり、学校全体でICT教育が進められるように取り組

